

一般質問・質疑の概要

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）																		
1	質問 (一問一答)	2 北村 大助	<p>1 野々市市中小企業振興基本条例について</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">(1)</td> <td>今から9年前、県内初に施行されました野々市市中小企業振興基本条例について、当時は先駆的な条例で中小企業事業者からも高い評価を受けておりました。しかしながら、現行と現在の取り巻く状況や追隨して他の自治体が本条例を施行している条文などを重ねますと、本市の本条例をさらに特徴付けて、市内の中小企業事業者に対しまして、本市の産業振興対策に取り組む姿勢を発信する必要があると考える。本条例に厚みと特徴付けした条例に改正する研究を行う時期に来ているのではないかと考えるが市長の見解を伺う。</td> </tr> </table> <p>2 JR野々市駅周辺 魅力的な駅前商業地の形成について</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">(1)</td> <td>都市計画マスタープランなどから、商業業務地区として「JR野々市駅周辺は、本市の中心的な商業業務地区であり、土地利用の高度化と併せて活性化を誘導します」と明記してあるが、駅前商業地として大きな潜在力をまだまだ秘めていると考える。市長が描くJR野々市駅周辺の将来構想を伺う。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(2)</td> <td>野々市市立地適正化計画の観点から、都市機能誘導区域の三本柱のひとつに設定されている。「行政機能・商業機能のいずれかを核とした複合施設を誘導施設とします。」と計画に明記してあるが、事業計画段階からプロポーザルで広く立案を求めるべきと考えるが市長の見解を伺う。</td> </tr> </table> <p>3 市中央公園拡張計画の進捗状況について</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">(1)</td> <td>本計画の策定作業進捗状況とタイムスケジュールを伺う。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(2)</td> <td>中央公園拡張計画の周辺一帯エリアの将来像が市長にとってどのように映っているのか伺う。</td> </tr> </table>	(1)	今から9年前、県内初に施行されました野々市市中小企業振興基本条例について、当時は先駆的な条例で中小企業事業者からも高い評価を受けておりました。しかしながら、現行と現在の取り巻く状況や追隨して他の自治体が本条例を施行している条文などを重ねますと、本市の本条例をさらに特徴付けて、市内の中小企業事業者に対しまして、本市の産業振興対策に取り組む姿勢を発信する必要があると考える。本条例に厚みと特徴付けした条例に改正する研究を行う時期に来ているのではないかと考えるが市長の見解を伺う。	(1)	都市計画マスタープランなどから、商業業務地区として「JR野々市駅周辺は、本市の中心的な商業業務地区であり、土地利用の高度化と併せて活性化を誘導します」と明記してあるが、駅前商業地として大きな潜在力をまだまだ秘めていると考える。市長が描くJR野々市駅周辺の将来構想を伺う。	(2)	野々市市立地適正化計画の観点から、都市機能誘導区域の三本柱のひとつに設定されている。「行政機能・商業機能のいずれかを核とした複合施設を誘導施設とします。」と計画に明記してあるが、事業計画段階からプロポーザルで広く立案を求めるべきと考えるが市長の見解を伺う。	(1)	本計画の策定作業進捗状況とタイムスケジュールを伺う。	(2)	中央公園拡張計画の周辺一帯エリアの将来像が市長にとってどのように映っているのか伺う。								
(1)	今から9年前、県内初に施行されました野々市市中小企業振興基本条例について、当時は先駆的な条例で中小企業事業者からも高い評価を受けておりました。しかしながら、現行と現在の取り巻く状況や追隨して他の自治体が本条例を施行している条文などを重ねますと、本市の本条例をさらに特徴付けて、市内の中小企業事業者に対しまして、本市の産業振興対策に取り組む姿勢を発信する必要があると考える。本条例に厚みと特徴付けした条例に改正する研究を行う時期に来ているのではないかと考えるが市長の見解を伺う。																				
(1)	都市計画マスタープランなどから、商業業務地区として「JR野々市駅周辺は、本市の中心的な商業業務地区であり、土地利用の高度化と併せて活性化を誘導します」と明記してあるが、駅前商業地として大きな潜在力をまだまだ秘めていると考える。市長が描くJR野々市駅周辺の将来構想を伺う。																				
(2)	野々市市立地適正化計画の観点から、都市機能誘導区域の三本柱のひとつに設定されている。「行政機能・商業機能のいずれかを核とした複合施設を誘導施設とします。」と計画に明記してあるが、事業計画段階からプロポーザルで広く立案を求めるべきと考えるが市長の見解を伺う。																				
(1)	本計画の策定作業進捗状況とタイムスケジュールを伺う。																				
(2)	中央公園拡張計画の周辺一帯エリアの将来像が市長にとってどのように映っているのか伺う。																				
2	質問 (一問一答)	1 五十川 員申	<p>1 利用者に優しいwebサイトに変更せよ</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">(1)</td> <td>本市webサイトの総閲覧者数と閲覧者の利用する端末別閲覧者数は？</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(2)</td> <td>本市webサイトがスマートフォンやタブレット端末では閲覧しづらいデザインの状況であるが、この状況が放置されている理由を教えてください。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(3)</td> <td>次年度予算で、何らかの形でスマホ対応やタブレット対応を行うべきかと考えますが、本市webサイトのデザイン見直しの予定はあるか？</td> </tr> </table> <p>2 災害時に利用するもののデザインを見直せ</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">(1)</td> <td>先月行われた防災訓練の目標参加人数と実際の参加人数を教えてください。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(2)</td> <td>災害時に利用するマニュアルや、道具をデザインでより使いやすくせよ。</td> </tr> </table> <p>3 11月に開館予定の学びの杜のいちカレードについて</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">(1)</td> <td>本市は全国でも早期に政府の推奨するPPP/PFI事業に着手してきた。今回のカレードに関して、民間だから出てきた提案だというものがあれば教えてください。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(2)</td> <td>カレードの有する機能や県下随一の開業時間など、いくつか発表されていますが、開業後催されるセミナーやイベントなど、決まっている範囲で教えてください。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(3)</td> <td>開業を心待ちにしている市民も大勢います。11月の開業に向けて行われるイベントなどがあれば教えてください。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(4)</td> <td>学びの杜のいちカレード開業で、いよいよ目に見える形で本町地区の再開発が動き出します。これから、ドキドキワクワクできる本町地区再開発への抱負と展望を教えてください。</td> </tr> </table>	(1)	本市webサイトの総閲覧者数と閲覧者の利用する端末別閲覧者数は？	(2)	本市webサイトがスマートフォンやタブレット端末では閲覧しづらいデザインの状況であるが、この状況が放置されている理由を教えてください。	(3)	次年度予算で、何らかの形でスマホ対応やタブレット対応を行うべきかと考えますが、本市webサイトのデザイン見直しの予定はあるか？	(1)	先月行われた防災訓練の目標参加人数と実際の参加人数を教えてください。	(2)	災害時に利用するマニュアルや、道具をデザインでより使いやすくせよ。	(1)	本市は全国でも早期に政府の推奨するPPP/PFI事業に着手してきた。今回のカレードに関して、民間だから出てきた提案だというものがあれば教えてください。	(2)	カレードの有する機能や県下随一の開業時間など、いくつか発表されていますが、開業後催されるセミナーやイベントなど、決まっている範囲で教えてください。	(3)	開業を心待ちにしている市民も大勢います。11月の開業に向けて行われるイベントなどがあれば教えてください。	(4)	学びの杜のいちカレード開業で、いよいよ目に見える形で本町地区の再開発が動き出します。これから、ドキドキワクワクできる本町地区再開発への抱負と展望を教えてください。
(1)	本市webサイトの総閲覧者数と閲覧者の利用する端末別閲覧者数は？																				
(2)	本市webサイトがスマートフォンやタブレット端末では閲覧しづらいデザインの状況であるが、この状況が放置されている理由を教えてください。																				
(3)	次年度予算で、何らかの形でスマホ対応やタブレット対応を行うべきかと考えますが、本市webサイトのデザイン見直しの予定はあるか？																				
(1)	先月行われた防災訓練の目標参加人数と実際の参加人数を教えてください。																				
(2)	災害時に利用するマニュアルや、道具をデザインでより使いやすくせよ。																				
(1)	本市は全国でも早期に政府の推奨するPPP/PFI事業に着手してきた。今回のカレードに関して、民間だから出てきた提案だというものがあれば教えてください。																				
(2)	カレードの有する機能や県下随一の開業時間など、いくつか発表されていますが、開業後催されるセミナーやイベントなど、決まっている範囲で教えてください。																				
(3)	開業を心待ちにしている市民も大勢います。11月の開業に向けて行われるイベントなどがあれば教えてください。																				
(4)	学びの杜のいちカレード開業で、いよいよ目に見える形で本町地区の再開発が動き出します。これから、ドキドキワクワクできる本町地区再開発への抱負と展望を教えてください。																				

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）						
3	質問 (一問一答)	10 辻 信行	<p>1 住宅改修制度について</p> <table border="1" data-bbox="627 208 1495 271"> <tr> <td data-bbox="627 208 695 271">(1)</td> <td data-bbox="695 208 1495 271">住宅改修制度の上乗せ助成制度に本市独自として浴室洗面台設置を助成制度に加えて頂きたい。</td> </tr> </table> <p>2 次期学習指導要領について</p> <table border="1" data-bbox="627 327 1495 389"> <tr> <td data-bbox="627 327 695 389">(1)</td> <td data-bbox="695 327 1495 389">小学5、6年から初めて英語教育が始まりますが次期学習指導要領の取り組みについて、お伺いします。</td> </tr> </table> <p>3 防災ハンドブックの内容について</p> <table border="1" data-bbox="627 445 1495 508"> <tr> <td data-bbox="627 445 695 508">(1)</td> <td data-bbox="695 445 1495 508">次期改修版では、もっとイラストを増やし、文字も大きくしたものに してはどうかをお伺いします。</td> </tr> </table>	(1)	住宅改修制度の上乗せ助成制度に本市独自として浴室洗面台設置を助成制度に加えて頂きたい。	(1)	小学5、6年から初めて英語教育が始まりますが次期学習指導要領の取り組みについて、お伺いします。	(1)	次期改修版では、もっとイラストを増やし、文字も大きくしたものに してはどうかをお伺いします。
(1)	住宅改修制度の上乗せ助成制度に本市独自として浴室洗面台設置を助成制度に加えて頂きたい。								
(1)	小学5、6年から初めて英語教育が始まりますが次期学習指導要領の取り組みについて、お伺いします。								
(1)	次期改修版では、もっとイラストを増やし、文字も大きくしたものに してはどうかをお伺いします。								

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
4	質問 (一問一答)	15 岩見 博	<p>1 核兵器禁止条約の採択を受けて</p> <p>(1) 核兵器を違法化する核兵器禁止条約が、国連会議で、国連加盟国193か国の約3分の2にあたる122か国の賛成（棄権1、反対1）で条約は採択された。禁止条約の採択は、耐え難い犠牲を被り、長期にわたり苦難を強いられてきた被爆者、被爆地の悲願である。同時に、核兵器の非人道性を訴え、核兵器廃絶に取り組んできた国内外の様々な運動が大きな力となったことは間違いない。本市においても、中学生による広島への「平和の旅」事業や原爆写真展などの取り組みをはじめとする市民のみなさん、市長、議会議長、議員各位、市職員のみなさんの理解と取り組みが被爆者、被爆地を励まし、条約採択の大きな力になった。市のこれまでの取り組みを続けることが、被爆者、被爆地の強い願いである日本政府の核兵器禁止条約の批准に向けた心強い支援になると思うが、市長の思いをお聞かせください。</p>
			<p>2 介護保険制度について</p> <p>(1) 介護保険で、要支援1、2の人の訪問介護と通所介護を保険給付から外し、市町村事業に移す「総合事業」が段階的に始まり、今年度から本市を含め全自治体でスタートした。厚生労働省がこのほどまとめた2016年度介護給付費実態調査によると、介護予防サービスの利用者数は前年度比で3.8%、介護予防サービスが始まった06年度以来初めて減少に転じているが、これは15年度以降、「要支援者」に対する訪問介護・通所介護などのサービスを介護保険給付から市町村の「総合事業」に移行し、利用が抑制されたことが要因と思われる。本市も今年4月から移行したが、①8月までのこの期間に介護保険給付による利用者数は前年度比で増えているのか。それとも減っているのか。②また、保険給付から市事業に移行した利用者数は。③要介護、要支援から卒業となった利用者数は。</p>
			<p>3 コミュニティバス「のっティ」の乗車運賃を小学生以下は無料に</p> <p>(1) 小学生の夏休み期間限定の「のっティ」無料乗継券を無料乗車券と思って利用する子どもがいるのではないかと心配していたが、実際に複数いたことが報告されている。11月1日の「カレード」の開館に合わせ、「カレード」限定の無料乗継券を1年間試験的に発行することになるが、この際、野々市市の将来を担う子どもたちへの投資と考え、小学生まで「のっティ」運賃を無料にする考えはないか。</p>
			<p>4 高齢者の自動車運転免許証自主返納者への支援について</p> <p>(1) 高齢者にとっても、買い物、仕事、趣味のための集まり、ちょっとした用事等々、日常生活で車は欠かせません。高齢者であっても自動車運転免許証を返納することによってその自由が制約されてしまうこととなります。それが自主返納を躊躇させている理由の一つではないか。野々市市は、自主返納者に対しコミュニティバスの回数券55枚を支援交付しているが、ほとんど利用されていないと報告されている。自主返納が進まないのと合わせ、回数券が使われない理由の一つに、広域的に公共交通機関を利用できる仕組みになっていないことも考えられるのではないか。対応策として、一定期間と範囲を限定した広域的公共交通機関（JR、IR、私鉄、コミュニティバス）を利用できる「公共交通無料パスの発行（例えば、石川中央都市圏公共交通無料パス）」が有効と考えるが、市として実施する考えはないか。あわせて、県に対しても、県内市町各関係機関、事業者への働きかけと調整を積極的に行うとともに、財政的支援を求めていく考えはないか。</p>
			<p>5 教職員の長時間過密労働解消に向けた取り組みについて</p> <p>(1) まだ実態把握の段階ではあるが、タイムカード導入で60時間超、70時間超、80時間超、90時間超、100時間超、持ち帰り残業、部活指導など、タイムカード導入前と比較して改善効果は見られるのか。</p> <p>(2) 文部科学大臣が、教職員の長時間過密労働解消に向けた負担軽減策を中央教育審議会に諮問したのを受けて、8月29日、教育審議会特別部会は、タイムカードを使った勤務時間の管理や、事務作業を代行する専門スタッフの配置などを盛り込んだ緊急提言をまとめた。これを受けて、文部科学省は、来年度予算の概算要求にあわせて具体的な対応の検討を進めるとされている。また、教員組合からの政策提言もあり、県議会においても活発な議論が行われている。①この間、市教育委員会の正式な議題にすることを求めてきたが、この間、正式な議題として審議されたことはありますか。②文科省からの通知・通達待ち、様子見にならないで、教員組合から意見を聞くことも含め、正式な議題として審議することを求める。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）			
5	質問 (一問一答)	3 馬場 弘勝	<p>1 災害時における人的・物的資源の受け入れ体制の構築について</p> <p>(1) 支援物資の物流体制について、行政職員である物資班の行動内容は具体性に欠けることのないように準備されているのか。また、特殊車両を有する運送業者や建設業者などの民間応援体制、県や近隣市町との連携に関して、具体的に機能するように整備されているのか。</p> <p>(2) 災害時には、様々な枠組みによる支援がある。受援側が全体像を把握できず、効率的な配置、配分ができないという状況にならないように、混乱を防ぐためにも各々の業務担当窓口とは別に、はっきりと、受援班を組織内に位置付けるべきだと考える。本市の受援体制を、見直すべきではないか。</p> <p>(3) 本市の実情に合わせた災害時受援計画を策定すべきではないか。また、実効性を高めるために、災害に関する協定を締結している自治体や企業、団体と、人的資源・物的資源の資源管理表や受援対象業務シートをもとにした研修や訓練を実施すべきではないか。</p> <p>2 コミュニティサイクルの導入について</p> <p>(1) 昨年12月に自転車活用推進法が衆議院、参議院とも全会一致で成立した。市内の施設、拠点に対して回遊性をもって学び、活動し、交流できることは、本市のコンパクトなまちづくりに欠かせないものである。今後は、市内の方々だけではなく、市外からも多くの方が本市を訪れることになる。45分間隔、一方向廻りのコミュニティバスのつていに加えて、自転車を共同利用するコミュニティサイクルの導入を検討すべきではないか。</p> <p>3 自転車ネットワーク計画（仮称）について</p> <p>(1) 自転車ネットワーク計画とは、安全で快適な自転車通行空間を効果的に整備することを目的に、自転車ネットワーク路線を選定し、自転車専用通行帯や車道混在、といった路線の整備形態等を示した計画である。今年度に策定予定である自転車ネットワーク計画は、どのような基本方針なのか。</p> <p>(2) どのような考え方でネットワーク路線を選定し、どのような整備形態で進めていくのか。特に、次の観点を中心に伺う。公共施設や都市拠点とのネットワークについて。公共交通機関とのネットワークについて。公園等の緑の拠点と木呂川緑道、林口川緑道、緑化された幹線道路で結ばれた環状緑地軸との関係について。</p>			
			6	質問 (一問一答)	6 西本 政之	<p>1 学校看護師の配置拡大について</p> <p>(1) 保護者が付き添わなくてもよい環境作りのために、学校看護師を常時配置すべきと考える。</p> <p>2 結婚支援について</p> <p>(1) 金沢工業大学プロジェクトデザインⅡへの提案内容と、大学との連携の進捗状況について伺う。</p> <p>3 防災対策について</p> <p>(1) 各町内会の自主防災組織に防災資器材を貸与してはどうか。</p> <p>4 保育士の労働環境について</p> <p>(1) 市内の保育園に勤務する保育士の勤務実態を調査・把握し、問題があれば是正を促すべきと考える。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
7	質問 (一問一答)	14 大東 和美	<p>1 東京発の「ヘルプカード」で育む「心のバリアフリー」</p> <p>(1) 外から見えない障害をカードで可視化、ヘルプカードの推進を、本市の現状と今後の取り組みについて伺います。</p> <p>2 自殺・いじめ相談をネット発信で自殺防止を</p> <p>(1) 本市のいじめ・自殺対策、特に夏休み明けの現状と今後の対策について伺います。</p> <p>3 全国各地の大規模な自然災害現場に職員の派遣を</p> <p>(1) 本市の防災・減災の取り組みについて、今年の防災訓練等の結果から、今後の課題について伺います。</p> <p>4 新たな住宅セーフティネット制度について</p> <p>(1) 空き家対策として、調査、実態、将来の推計など本市の現状について伺います。</p> <p>(2) 高齢者、障がい者、低所得者、子育て世代などの住宅支援について、庁内横断的な取り組みがなされているのでしょうか。あるのでしたらその取り組みについて伺います。</p> <p>(3) 今後、居住の諸課題に対応する横断的な組織づくりについて、本市の見解を伺います。</p>
8	質問 (一問一答)	4 安原 透	<p>1を 野</p> <p>来年3月でJR野々市駅（当時国鉄野々市駅）が供用開始されて50周年を迎える。50周年の節目を迎えるにあたり、野々市の玄関口でもあるJR野々市駅が供用開始されて50周年という節目の年を迎える。JR野々市駅はいわゆる請願駅であり、地元の熱意と努力と出資によって新設されたものである。50周年を迎えるにあたり、先人の多大な努力によって本市のまちづくりの発展の礎になっていることを今一度振り返り、これを機に市民協働の原点ともいべきこの事業において、今回記念行事をし、子供たちや次の世代に語り継いでいくことが、市民協働の意識の醸成にもつながるものと考え、本市の見解を伺う。</p> <p>この の</p> <p>本市の子どもの増加に伴い、通学路における児童・生徒の安全確保について、本市の見解を伺う。</p> <p>い</p> <p>観点から、本市の通学路の安全確保に向けた継続的な取り組みと対策について、本市の見解を伺う。</p> <p>(1) 本市の人口の増加に伴い、小中学校の児童・生徒数が増加している。区画整理事業に伴う道路事情の変化等、通学路における児童・生徒の安全確保についても、常に課題になるとされる。そのことを踏まえ、「野々市市通学路交通安全プログラム」に基づいた通学路の安全点検と対策について、今後の考え方と計画を伺う。</p>